

# 平成22年12月 全国百貨店売上高概況

平成23年1月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	7,246億円余
2. 前年同月比	-1.5% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	91社 261店 (平成22年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,468,941㎡ (前年同月比:-2.5%)
5. 総従業員数	93,179人 (前年同月比:-6.0%)
6. 3か月移動平均値	5-7月 -3.1%、6-8月 -3.5%、7-9月 -3.1%、 8-10月 -2.5%、9-11月 -1.6%、10-12月 -0.6%

[参考] 平成21年12月の売上高増減率は-5.0% (店舗数調整後)

### 【12月売上の特徴】

2か月連続の前年同月比マイナスであるが、減少率が小幅であったことから、基調を示す3か月移動平均は-0.6%(-0%台は07年9-11月以来37期ぶり)と前年並みにまで水準を戻した。

12月は、株価の回復や円高の一服感などを背景に消費マインドも改善し、特選輸入雑貨や高級時計などの一部高額商材に動きが見られたほか、季節商材のおせちやクリスマスケーキの受注も好調に推移したが、主力の重衣料は中旬まで高めの気温が影響して動きが鈍く、月後半の気温低下に伴い大きく盛り返したものの、前半の不調をカバーするまでには至らなかった。その結果、最終トータルでは前年実績を若干下回ることとなった。

具体的な動向としては、一部改装店舗の面積減やエコポイント制度変更による家電の不振などマイナス要素がある一方、クリスマスのギフト需要でファッション雑貨が活況だったこと、家庭回帰に新年買換え需要が重なり食器類が好調を維持していること、外国人売上が復調(12月12.4%増/H22年年間31.5%増)したことなどのプラス要素が報告されている。

なお、平成22年年間売上高合計は6兆2,921億円余(対前年比+3.1%)となった。

### 【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
  - ◇ 下旬までは冬型の気圧配置は長続きせず、月平均気温はかなり高かった。また、北日本から西日本にかけて月降水量はかなり多かった。下旬から強い寒気が日本付近に南下したため、日本海側を中心に記録的な大雪となった。
- (2) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日 ( " ±0日)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
  - ①増加した: 44店、②変化なし: 38店、③減少した: 52店、④不明: 43店
- (5) 12月歳時記(クリスマス、歳暮、天皇誕生日、冬至、大晦日)の売上 (同上)
  - ①増加した: 20店、②変化なし: 59店、③減少した: 28店、④不明: 70店
- (6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
  - ①増加する: 15店、②変化なし: 78店、③減少する: 31店、④不明: 53店

# 全国百貨店 売上高速報 2010年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全国</b>	<b>724,676,346</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.5 ( -2.3)</b>
<b>10都市</b>	<b>471,847,824</b>	<b>65.1</b>	<b>-0.9 ( -1.2)</b>
札幌	18,136,288	2.5	-2.4
仙台	10,061,182	1.4	-3.9
東京	178,522,259	24.6	-0.3
横浜	42,200,402	5.8	-0.5
名古屋	42,796,382	5.9	0.8 ( -1.7)
京都	27,876,718	3.8	-2.8 ( -4.2)
大阪	92,567,195	12.8	-1.1
神戸	21,396,499	3.0	-1.0
広島	17,823,874	2.5	-1.4
福岡	20,467,025	2.8	-4.0
<b>10都市以外の地区</b>	<b>252,828,522</b>	<b>34.9</b>	<b>-2.5 ( -4.3)</b>
北海道	4,159,506	0.6	-5.4 ( -17.0)
東北	12,971,349	1.8	-2.7
関東	118,210,088	16.3	-2.1 ( -4.8)
中部	19,813,747	2.7	-3.1 ( -7.4)
近畿	23,902,488	3.3	-2.6
中国	17,867,657	2.5	-0.7
四国	13,800,370	1.9	-3.3
九州	42,103,317	5.8	-3.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>724,676,346</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.5 ( -2.3)</b>
紳士服・洋品	48,380,771	6.7	-1.5 ( -2.4)
婦人服・洋品	125,906,262	17.4	-1.1 ( -2.5)
子供服・洋品	13,626,797	1.9	-3.0 ( -3.7)
その他衣料品	15,987,644	2.2	-7.8 ( -9.8)
<b>衣 料 品</b>	<b>203,901,474</b>	<b>28.1</b>	<b>-1.9 ( -3.2)</b>
身のまわり品	86,659,349	12.0	0.1 ( -0.6)
化粧品	33,487,269	4.6	-0.5 ( -1.0)
美術・宝飾・貴金属	32,119,935	4.4	-3.7 ( -4.5)
その他雑貨	29,037,513	4.0	-5.9 ( -6.1)
<b>雑 貨</b>	<b>94,644,717</b>	<b>13.1</b>	<b>-3.3 ( -3.8)</b>
家 具	7,879,156	1.1	-4.5 ( -5.9)
家 電	1,937,325	0.3	-15.2 ( -15.4)
その他家庭用品	23,592,036	3.3	1.3 ( 0.7)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>33,408,517</b>	<b>4.6</b>	<b>-1.2 ( -2.0)</b>
生 鮮 食 品	60,488,243	8.3	-1.2 ( -2.0)
菓 子	65,734,491	9.1	-0.9 ( -1.7)
惣 菜	52,204,764	7.2	-4.3 ( -4.8)
その他食料品	90,885,539	12.5	-1.2 ( -2.1)
<b>食 料 品</b>	<b>269,313,037</b>	<b>37.2</b>	<b>-1.8 ( -2.5)</b>
食 堂 喫 茶	16,353,087	2.3	-2.0 ( -2.7)
サ ー ビ ス	6,353,936	0.9	-0.7 ( -1.3)
そ の 他	14,042,229	1.9	15.9 ( 15.7)
<b>商 品 券</b>	<b>44,035,514</b>	<b>6.1</b>	<b>-4.2 ( -4.9)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |       |                    |
|------------------|-------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向      | -0.9% | (店舗数調整後／2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.5% | ( " / 42か月連続マイナス)  |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.9	-0.6	2か月連続マイナス
札幌	-2.4	-0.1	10か月連続マイナス
仙台	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
東京	-0.3	-0.1	3か月ぶりマイナス
横浜	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
名古屋	0.8	0.0	3か月連続プラス
京都	-2.8	-0.1	2か月連続マイナス
大阪	-1.1	-0.1	5か月連続マイナス
神戸	-1.0	0.0	5か月連続マイナス
広島	-1.4	0.0	34か月連続マイナス
福岡	-4.0	-0.1	29か月連続マイナス
10都市以外の地区	-2.5	-0.9	42か月連続マイナス
北海道	-5.4	0.0	2か月連続マイナス*
東北	-2.7	0.0	33か月連続マイナス*
関東	-2.1	-0.3	42か月連続マイナス
中部	-3.1	-0.1	33か月連続マイナス
近畿	-2.6	-0.1	3か月ぶりマイナス
中国	-0.7	0.0	31か月連続マイナス*
四国	-3.3	-0.1	42か月連続マイナス
九州	-3.1	-0.2	40か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が2か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、雑貨、家庭用品、食料品。その他家庭用品が3か月連続のプラスとなった。また、子供服・洋品、美術・宝飾・貴金属、家具が先月より改善する動きとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-1.5	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.5	-0.1	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-1.1	-0.2	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-3.0	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-7.8	-0.2	34か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-1.9	-0.5	2か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
化粧品	-0.5	0.0	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-3.7	-0.2	46か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.9	-0.2	37か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-3.3	-0.4	34か月連続マイナス
家具	-4.5	-0.1	37か月連続マイナス
家電	-15.2	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	1.3	0.0	3か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	-1.2	-0.1	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	-0.9	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-4.3	-0.3	2か月連続マイナス*
その他食料品	-1.2	-0.2	5か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-1.8	-0.7	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.0	0.0	2か月連続マイナス
サービス	-0.7	0.0	5か月ぶりマイナス
<b>その他</b>	15.9	0.3	9か月連続プラス
<b>商品券</b>	-4.2	-0.3	14か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

## 全国百貨店 売上高速報 2010年01月～2010年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>6,292,121,866</b>	<b>100.0</b>	<b>-3.1 ( -4.4)</b>
<b>10都市</b>	<b>4,050,316,060</b>	<b>64.4</b>	<b>-2.8 ( -4.0)</b>
札幌	156,203,218	2.5	-1.9 ( -8.1)
仙台	82,759,554	1.3	-5.9
東京	1,558,252,944	24.8	-3.0 ( -3.7)
横浜	358,428,061	5.7	-1.6
名古屋	375,454,294	6.0	-1.1 ( -2.0)
京都	249,367,161	4.0	-3.4 ( -4.0)
大阪	773,817,316	12.3	-3.2 ( -6.1)
神戸	176,844,836	2.8	-1.7
広島	148,472,404	2.4	-3.9
福岡	170,716,272	2.7	-3.5
<b>10都市以外の地区</b>	<b>2,241,805,806</b>	<b>35.6</b>	<b>-3.5 ( -5.2)</b>
北海道	37,850,036	0.6	3.7 ( -18.5)
東北	124,134,683	2.0	-4.2
関東	1,075,603,457	17.1	-3.2 ( -4.8)
中部	175,800,002	2.8	-4.0 ( -6.4)
近畿	208,935,126	3.3	-3.5
中国	154,968,145	2.5	-4.4
四国	117,106,425	1.9	-5.8
九州	347,407,932	5.5	-3.8 ( -5.6)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>6,292,121,866</b>	<b>100.0</b>	<b>-3.1 ( -4.4)</b>
紳士服・洋品	431,958,119	6.9	-4.4 ( -5.7)
婦人服・洋品	1,434,652,900	22.8	-4.4 ( -5.9)
子供服・洋品	161,853,717	2.6	-4.6 ( -5.3)
その他衣料品	168,122,757	2.7	-7.9 ( -9.6)
<b>衣 料 品</b>	<b>2,196,587,493</b>	<b>34.9</b>	<b>-4.7 ( -6.1)</b>
身のまわり品	769,721,479	12.2	-3.0 ( -4.9)
化粧品	328,957,221	5.2	-1.3 ( -2.3)
美術・宝飾・貴金属	276,609,560	4.4	-3.7 ( -6.1)
その他雑貨	261,342,114	4.2	-5.9 ( -7.9)
<b>雑 貨</b>	<b>866,908,895</b>	<b>13.8</b>	<b>-3.5 ( -5.2)</b>
家 具	82,069,664	1.3	-6.4 ( -7.8)
家 電	20,738,949	0.3	-5.0 ( -6.3)
その他家庭用品	212,120,553	3.4	0.6 ( -0.6)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>314,929,166</b>	<b>5.0</b>	<b>-1.7 ( -3.0)</b>
生 鮮 食 品	387,123,665	6.2	-2.0 ( -2.8)
菓 子	454,298,820	7.2	-1.4 ( -2.3)
惣 菜	362,880,267	5.8	-3.3 ( -3.8)
その他食料品	563,684,832	9.0	-1.5 ( -3.1)
<b>食 料 品</b>	<b>1,767,987,584</b>	<b>28.1</b>	<b>-2.0 ( -3.0)</b>
食 堂 喫 茶	175,539,331	2.8	-3.6 ( -4.7)
サ ー ビ ス	69,763,198	1.1	-1.1 ( -2.1)
そ の 他	130,684,720	2.1	10.9 ( 10.4)
<b>商 品 券</b>	<b>270,765,030</b>	<b>4.3</b>	<b>6.6 ( 5.7)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

### 全国百貨店年間(1月～12月)売上高

年 間	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2010(平成22年)	6,292,121,866	※ -3.1(-4.4)
2009(平成21年)	6,584,111,762	-10.1(-10.8)
2008(平成20年)	7,381,364,215	-4.3(-4.2)
2007(平成19年)	7,705,225,250	-0.5(-0.8)
2006(平成18年)	7,770,044,238	-0.7(-0.9)
2005(平成17年)	7,841,459,564	-0.2(-0.5)
2004(平成16年)	7,878,798,456	-2.8(-2.9)
2003(平成15年)	8,111,692,067	-2.8(-2.8)
2002(平成14年)	8,344,684,079	-2.3(-2.7)
2001(平成13年)	8,572,465,434	-0.4(-2.8)
2000(平成12年)	8,820,028,525	-1.8(-1.9)

※は店舗数調整後、( )は調整前

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>